

第七十六回
帝國議會
貴族院

貸家組合法案特別委員會議事速記録第三號

昭和十六年二月二十日(木曜日)午前十時
九分開會

○委員長(子爵立見豐丸君) 昨日ニ引續イ

テ委員會ヲ開催致シマス、最初ニ、企畫院
ト商工省カラ政府委員ガオイデニナッテ居
リマスカラ、ソレニ御質問ノ方ガアリマシ
タラ、御願ヒ致シマス

○長岡隆一郎君 私ハ此ノ貸家組合法及住
宅營團法ノ家屋建築ト云フコトニ付テ資材
ノ配給ノ準備アリヤ、ソレカラ物動計畫中ニ
ハ私素人デ知リマセヌガ、甲、乙、丙トカ、
甲ノ一トカ、二トカト云フヤウナ順位ガア
ルサウデゴザイマスカ、此ノ勞務者、其ノ
他ノ住宅供給ニ關スル物資ガ如何ナル順位
ニ準備ガアルカト云フ二點ニ付テ御伺ヒシ
タイノデアリマス、此ノ住宅營團ガ成立致
シマシテモ、第一ニ難關ニ遭遇スルノハ技
術者デアアル、其ノ技術者ト云フノハ高級技
術者ノミナラズ現場監督、大工、左官等ヲ
含ムノデアリマス、之ニモ御困リデセウガ
第二ニ、同時ニ御困リダラウト思フケレド
モ、是等ハ商工省、或ハ企畫院ニ御關係ノ
ナイコトデアリマスルガ、第三ニ資材ノ配給
ト云フコトニ付テ一番困ルト思フ、是ハ年
ニ六萬戸ヲ御作りニナルト云フコトデア
ルト承テ居リマスケレドモ、前田男爵ノ仰シ
ヤツヤウニ、此ノ營團ト云フモノハ幾多ノ
特殊會社ノ如キ非難ヲ受ケテ、一年ニ六萬
戸ナント云フモノハ迎モ出來ヤシナイト思
フ、是ハ何カ公法人カ、私法人カ、譯ノ分
ラナイ合ノ子ノモノデアリマシテ、私ガ贊

否ヲ躊躇シテ居ル所以ノモノハ、此處ニア
ル、只今ノ住宅難ト云フモノハ私ハ過日他
ノ委員會ニ於テ申上ゲタノデゴザイマスガ
是ハ殆ド人道問題デアルト申上ゲテモ宜イ
ト思フ、私ハ親シク調査シタノデアリマス
ケレドモ、東北ノ或縣ノ漁村ニ於テ、職業
紹介所ガ少年工ヲ募集シテ東京ニ連レテ來
タ、賃銀ハ相當宜シイノデ皆喜ンデ押シテ
來タ、處方住宅ト云フコトニ付テハ何等職
業紹介所デ調査シテ居ナイ、ソコデ工場ニ
著イテ見ルト云フト、寄宿舍ハ無論ナイ、
工場内ノ機械ヲ運轉シテ居ル所ニ蠶棚ノヤ
ウニ棚ヲ吊ッテ、其處ニ寝カセル、是ハ交替
デ夜モ機械ヲ運轉シテ居リマスカラ、其處
ニ泊ッテ少年工ハ機械ノ音響、ソレカラ塵埃
ノ爲ニ苦シメラレテ、夜モ寝ラレナイ、結
局神經衰弱、若シハ肺炎加答兒ニナッテ、
一人殘ラズ郷里ニ歸タト云フヤウナ問題
ガアリマス、是ハ其ノ工場ノ名前ハ申上
マセヌガ、一例ヲ舉ゲレバサウ云フヤウナ
譯デアリマス、ソレデ當局ニ於テ工場主、
鑛山主ニ勞務者ノ住宅ヲ供給シロト云フ御
勸誘、或ハ御命令ヲ發シテ居ラルト云フ
コトデアリマスガ、私ノ知ッテ居ル工場
主、鑛山主ハ勞務者ノ住宅ヲ造リタイノデ
アリマスケレドモ、資材ガナイ、「セメント」
ノ公定價格ハ只今一圓三十八錢トカ、私ノ
記憶違ヒカ知レマセヌガ承ッテ居リマス
ケレドモ、實際市場ノ取引ハ五圓内外デア
リ、是ハ何カ公法人カ、私法人カ、譯ノ分
ラナイ合ノ子ノモノデアリマシテ、私ガ贊

ガ出來ナイト云フト柱ガ雨デ腐ッテシマフ、
工事ガ長クナリマススト云フト、職工ヲ遊バ
シテ置カケレバナラヌト云フヤウナコト
カラ、勢ヒ闇取引ガ行ハレルト云フヤウナ
狀況デアアル、當局ノ御盡力ニ依ッテ切符ヲ戴
イテモ、唯切符ヲ戴クダケデ實際ノ資材ト
云フモノハ手ニ入ラナイト云フコトガ今日
ノ實狀デアアル、是ハ當局ガ御存ジデア
ルカドウカ存ジマセヌ、ソレデ今回貸家組合ニ
資材ヲ供給スル、又住宅營團ニ於テ年ニ六
萬戸御造リニナルト云フコトニ付テ、少ク
モ資材ノ配給ニ付テ商工省ニ御準備ガアリ
ヤ、又物動計畫ニ於テ如何ナル順位ニ此ノ
住宅ノ資材供給ト云フコトヲ御入レニナッ
テ居ルヤ否ヤ、恐ラクハ政府委員ノ御答辯
トシテハ、ソレハ萬全ノ注意ヲ致ストカ、
成ルベク御希望ニ副フヤウニ努力致スト云
フヤウナ御説明ヲ下サルト思フ、私モ永年
政府委員ヲ致シテ居リマシタガ、何時デモ
サウ云フヤウナ答辯ヲシテ居タモノデス
ガ、サウ云フコトヲ承リタクハナイ、資材
ノ配給ニ付テハ少クモ是等ノ階級ノ住宅ノ
供給ヲ爲ス爲ニ、住宅難ヲ救フ爲ニ、資材
ノ配給ニ付テハ心配ハ要ラナイト云フ御答
辯ガ得ラレバ私ハ満足スルノデアリマス

○政府委員(三浦一雄君) 御答へ申上
ス、物資需給計畫ハ、御承知ノ通り事變以
來計畫實施致シテ參タノデゴザイマスガ、
一昨年、昨年度、即チ昭和十四年度ニ於
キマスル住宅資材ノ需給計畫ニ付キマシ
テハ、實ハ一本ノ建築資材ト云フモノニ致シ
テ居リマシテ、實施シテ參タノデゴザイマ
ス、然ルニ段々此ノ事變以來住宅問題ガ各
般ノ角度カラ之ヲ觀察シ、之ニ對處シナケ
レバナラヌト云フ實情ガハッキリシテ參
デアリマス、從ヒマシテ昭和十五年度ニ於
キマシテハ特ニ勞務者ニ對シマスル住宅ヲ供
給スル、其ノ爲ニハ之ニ所要ノ資材ヲ配當
スルノ計畫ヲ立テテ萬全ノ措置ヲ講ジナケ
レバナラヌト云フコトニ相成リマシテ、勞
務者住宅ニ付キマシテハ特段ノ計畫ヲ立
タノデゴザイマス、尙昭和十五年度ノ物資
動員計畫ヲ樹立致シマシテ、當時企畫院總
裁カラ其ノ設定ノ途ヲ聲明サレタ譯デア
リマスガ、其ノ際ニ於キマシテモ特ニ勞務者
住宅ニ付テハ重點ヲ置イデ、之ニ對スル諸
般ノ準備等ヲ致シタト云フコトヲハッキリ
闡明致シテ居ルノデアリマスガ、左様ナ心
組ヲ以テマシテ、特ニ勞務者住宅ニ付キマ
シテハ從前ノ計畫ヲ改善致シマシテ、一般
建築資材ノ分ト別途ニ勞務者住宅ニ對ス
ル資材ノ需給計畫ヲ立テ、之ニ對スル萬全
ノ處置ヲ講ジタ譯デアリマス、然ラバ勞務者
住宅ニ對スル考ヘ方ハドウ云フ風ニ致シ
カト云フコトデアリマスガ、大體一般世
帯住宅ニ對スル、或ハ共同宿舍ニ對スル、
同時ニ共同炊事等ニ關スル分、斯ウ云フヤ
ウナモノヲ先ヅ主體ニ致シマシテ、是等ニ
對スル所要ノ資材ガ當時ノ厚生省ヲ通ジテ
提案ヲサレタノデアリマス、之ニ付キマシ
テハ現下重要物資ノ需要ノ多イ時デア
ラシテ、自ラ計畫ノ樹立竝ニ實施ニ付キマ

シテハ、各省ノ御協力ヲ願フテ、最モ緊切ナルモノニ止メルト云フ方針ヲ以テ處理致シタルノデアリマスルガ、此ノ要求ニ對シマシテハ、勿論其ノ角度カラ相當折衝致シマシタガ、大體計畫ヲ段々御檢討ヲ願ヒマシテ、所要ノ計畫ハ遂行シ得ルダケノ資材ハハツキリ計畫ニ計上シテゴザイマス、更ニ鑛山方面ニ付キマスル住宅ハ、又格段ノ考ヘ方ヲ致サナケレバナラス關係上、是亦先程申上ゲマシタ一般世帯住宅、共同宿舍等ノ計畫トハ別途ニ、炭鑛勞務者ニ對スル住宅ノ計畫モ致シタルデゴザイマス、是等ヲ併セマス、厚生省デ御立案ニナリマシタ計畫ニ相應致シマシタ所要ノ資材ヲ本年度ニ於テ計畫致シタルデゴザイマス、其ノ後實ハ昭和十五年度ノ物資動員計畫ハ、過般總理大臣竝ニ企畫院總裁ヨリ修正ノ已ムナキ事情ヲ申上ゲタ譯デアリマスルカラ御了承ノコトト思ヒマスルガ、從ヒマシテ若干ノ修正ヲ加ヘマシタ、併シナガラ此ノ勞務者ノ住宅ノ問題ハ長岡委員カラ續々御意見ノゴザイマシタ通り、特ニ重大ナ問題デアリマスルノデ、之ニ對スル物資ノ節約度ハ極度ニ差控ヘマシテ、成ルベク之ニ供給スルト云フコトニ致シタルデゴザイマシテ、其ノ割合等モ他ノ方面ニ對シマスル削減等カラ見マスト非常ニ優遇サレテ居リマス、尙實際ノ配給狀況デアリマスガ、物ニ依リマシテハ、斯ウ云フ時局柄デゴザイマスカラ、當初ノ計畫通り參ラヌ部分モアリマス、併シナガラ鋼材等ニ付キマシテハ所要ノ資材ガ十分トハ謂ヘラセヌデセウケレドモ、所要ノ計畫ハ遂行シ得ル程度ニ行ッテ居ルコトハ厚生省カラ既ニ御答ノ通りデアリマスカラ、其ノ點ヲ御了承ヲ得タイト思ヒマス、尙今後ノ問

題デゴザイマスガ、既ニ昭和十五年度ニ於キマシテモ、勞務者住宅ノ重要度ニ鑑ミマシテ、特ニ國民生活ノ保持上、食糧、醫療、勞務者住宅ナドニ付テハ特ニ力ヲ入レテヤルト云フ方針ヲ闡明シタ通り、今後考ヘテ參リタイト存ジマス、十六年度ノ物資供給計畫ニ付キマシテハ、私カラ此ノ際申上ゲル迄モナク、相當時局ノ推移ニ依リマシテ種々考慮シナケレバナラス點ガアリマス、併シナガラ出來マス限り諸般ノ考慮ヲ廻ラシマシテ、此ノ問題ハ所謂優先的ニ處理致シタイト考ヘマス、唯本年度即チ十五年度ニ於キマシテ、斯クノ如キ進歩改善シタ計畫ヲ致シテ置キマシタルデアリマスガ、一面ニ於テハ、所謂住宅ヲ造ル方面、即チ今度計畫サレテアリマス組合制度デアルトカ、或ハ營團ト云フモノガ缺ケテ居リマシタ關係上、實施上ニ付キマシテハ少ナカラザル支障ガアツタコトト考ヘマス、サスレバ物資供給計畫ニ於キマシテモ此ノ點ヲ考ヘ、且實行ニ付キマシテモ今度政府提案ノアリマスカラ制度ニ依リマシタナラバ、首尾一貫シテ對策ガ完璧ヲ期スルノデヤナイカト思ッテ居ル次第デアリマス、左様御了承ヲ願ヒタイト思ッテ居リマス

○長岡隆一郎君 只今政府委員ヨリ誠ニ御親切ナル御答辯ヲ戴キマシテ感謝致シマス、ドウモ私ノ御尋ネシマシタコトニ對スル御答トシテハ、稍、霞ヲ隔テテ花ヲ見ルヤウナ感ガゴザイマスガ、ソレハ政府委員トシテ、ソレヨリ突進シテ御答ハ出來マスマイ、ソレハ了致シマス、唯當局ノ御熱心ナル御努力ニ拘ラズ、資材ノ配給ガ非常ニ延滞シテ居ルト云フ實情ハ、實例ヲ擧ゲテ申上ゲル迄モナク、恐ラク御承知デアラウト思フ、

此ノ點ニ付テ一層ノ御努力ヲ御願ヒ致シタイト云フコトト、重ネテ御質問申上ゲマスガ、勞務者住宅ト云フ只今ノ御言葉ノ中ニハ、筋肉勞働者以外ニ、所謂下級ノ「サラリーマン」ト云フモノヲ含シテ居ルノデゴザイマセウカ、單純ナル筋肉勞働者ダケニ限ルモノデゴザイマセウカ、只今ノ勞務者住宅ト云フコトノ範圍ハドノ程度デゴザイマスカ、重ネテ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(三浦一雄君) 昭和十五年度ニ於キマシテ、特ニ重點ヲ置キマシタ此ノ勞務者住宅ニ對スル資材供給ニ關シテハ、主トシテ筋肉勞働者ガ重點ニナッテ居ルト考ヘマス、併シ是ハ現在ノ勞務者住宅ハ、申上ゲル迄モナク軍需品ノ製作デアルトカ、或ハ生産力擴充ノ計畫產業ニ對スルモノガ自分ヲ重要ナモノトナルト思フノデアリマス、其ノ場合ニ多數ノサウ云フ風ナ所謂勞務者住宅ノ中ニハ、雷ニ筋肉勞働バカリデハナイ方面モ多イノデアリマスカラ、サウ云フモノモ自カラ入ラナケレバナラスト云フコトハ豫想サレルト思ヒマス、唯主トシテ考ヘマシタコトハ、今私ノ申上ゲタヤウナ事情ダト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ後者ノ分ニ對シテモ敢テ別ニ除外スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ

○長岡隆一郎君 資材關係ニ對スル質問ハ是デ打切りマシテ、内務省ノ政府委員ガ御見エニナツタヤウデアリマスカラ、昨日中川委員カラ御質問ニナリマシタヤウナ、市街地建築物法ニ關スル質問ヲ致シタイト思ヒマス、此ノ頃所謂住宅地域ニ對シテ濫リニ工場ヲ御許シニナル、是ハ市街地建築物法ノ第一條ニ、住宅地域、商業地域、工業地域ト云フモノガ分ケテアリ、而シテ同第二

條ニ、住宅ノ安寧ヲ害スル虞アル用途ニ供スル建築物ハ、住宅地域内ニ造ルコトガ出來スト云フコトヲ明瞭ニ書イテアル、而シテ住宅地域、商業地域、工業地域ト云フモノハ、大正十三年ノ頃ト思ヒマスガ、内閣告示ヲ以テ明示シテアル、又明示シテアラザル所デモ、住宅地域ノ豫定地、商業地域ノ豫定地、工業地域ノ豫定地ト云フモノハ是亦地圖デ明瞭ニシテアル、唯市街地建築物法施行令ノ第一條ニ於テ、「公益上已ムヲ得ズト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ」ト云フコトニ致シテ居ル、是ハ制定ノ當時、公益上ト云フノハ實ハ新聞通信社ヲ意味シテ居タ、是ハ報道ノ迅速、編輯ノ迅速ヲ尊ブ關係上、此ノ工場ト云フモノヲ、工業地域ニ持ッテ行ク譯ニ行カヌノデ、公益上已ムヲ得ザルト認メタ新聞社ノ工場ダケハ住宅地域ニ置クト云フ意味デ、此ノ施行令ノ第一條ガ出來テ居ル、然ルニ近來ノ御取扱振リヲ見ルト、公益上ト云フモノヲ廣ク解シテ、有ラユル工場ト云フモノハ公益上必要ダ、斯ウ云フヤウナ所カラ市街地ニ盛シニ御許シニナッテ居ル、是ハ私カラ申上ゲル迄モナク、工場ト云フモノハ自然ニ放任シテ居ッタラバ地價ノ安イ所安イ所ニ出來ル、然ラバ住宅地域ト云フモノハ惡臭、音響、塵埃、其ノ他ノコトニ惱マサレテ、コ、デ所謂地域制度ト云フモノガ出來タ、講釋タイタコトヲ申上ゲルヤウデスケレドモ、是ハ「カイゼル」ガ「ドイツ」ニ於テ文化的ノ仕事トシテ最モ功績ヲ殘シタ「フランクフルト・アム・マイン」ノ地域制度ガ元デ、我が國ニ於テモ立派ニ市街地建築物法ト云フ規定ガアル、然ルニ公益上ト云フモノヲ濫用サレテ、住居地域ニ對シテ盛シニ工場ヲ御許シニナル、是ハ當局ノ御方針ガドコニア

ルノカ私同ヒタイ

○政府委員(藤岡長敏君) 地域制度ノ目的

トシテ、狙ッテ居リマスコトハ、今長岡サンカラ御述ニナツタ通り、都市ノ健全ナル發達ヲ企圖致シマス爲ニ、嚴格ニ地域制度ヲ守ラナケレバナラヌコトハ申ス迄モナイノデアリマス、近來軍需生産等ヲ急速ニ、急グ關係等ガアリマシテ、御説ニアリマシタ通り、稍、公益上ト云フ點ヲ廣義ニ解釋シテ、多少濫設デハナイカト思ハレルヤウナ許可ガサレテ居ル箇所モナイデハ、ナイヤウデアリマス、私共誠ニ將來ヲ考ヘマシテ、甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ所デアルト實ハ存ジテ居ル次第デアリマス、就キマシテハ斯クノ如キ情勢デ參リマスルト云フト、諸種ノ弊害ヲ伴フノミナラズ、都市其ノモノノ健全ナル發達ヲ企圖致シテ居リマスル地域制度ガ案レルヤウナ結果ニ相成ツテ、悔ヲ將來ニ貽スモノデアルト考ヘマス、此ノ點嚴重ニ地域制度ヲ守ルヤウニ進メテ參リタイト思ヒマス、何分差迫ツタ、急速ニ増産ヲ要スル、軍需品等ノ生産ヲ急グ爲ニ、今申上ゲマシタヤウニ、多少ノ無理ノアツタコトハ、是ハ認メザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ點將來問題トシテ悔ヲ貽サナイヤウニ考ヘテ參リタイト思ツテ居リマス

○長岡隆一郎君 若シ只今ノ地域制度ガ惡

クテ、軍需品ノ製造等ニ差支ガアルト云フ

ナラバ、何ガ故ニ都市計畫委員會ヲ御招集

ニナツデ、サウシテ工業地域ヲ御擴張ニナラ

ナイノカ、適法ノ手段ニ依ッテ御許シニナル

ナラバ、我々チットモ異議ガナイ、然ルニ其

ノ事ハオヤリニナラズシテ、現行ノ法律ガ

アルニ拘ラズ、ソレヲ濫ツテ、サウシテ御許

シニナル、當局自ラ法ヲ犯スト云フコトハ

現ニ御認メニナツテ居ル、ソレガ私ハ世道人

心ノ爲ニ宜シクナイト思フ、若シ只今ノ工

業地域ノ制度ト云フモノガ狹過ギル、困ル

ト云フナラバ、宜シク適法ナル手段ニ依ッテ

地域制度ヲ御改正ニナツタ宜カラウ、何モ

私ハ現在ノ地域制度ガ萬全ナモノトハ思ツテ

居ナイ、然ルニ地域制度ヲ其ノ儘ニシテ置

イテ、萬已ムヲ得ザルコトダト云フコトデ、

當局自ラ法ヲ御濫リニナルト云フコトガ私

ハ宜シクナイト思フガ、御意見ハ如何デゴ

ザイマスカ

○政府委員(藤岡長敏君) 全ク自ラ法ヲ濫

ルコトハ宜シクナイコトハ申ス迄モナイノ

デゴザイマスガ、取急イデ便宜ノ處置ヲ講

ジテ居ツタヤウニ考ヘラレルノデアリマシテ、純理カラ申シマシテ、惡ケレバ其ノ場所々ニ於テ地域制度ヲ改メテ行ケバ宜イコトハ申ス迄モナク、將來大キナ問題ヲ貽スヤウナ場合ニハ必ス左様ニ取ツテ參リタイト實ハ考ヘテ居リマス

○長岡隆一郎君 只今ノ御説明、マダ満足致シマセスケレドモ、私バカリ長時間ヲ質問ニ費スコトハ、他ノ委員ニ對シテ失禮ト思ヒマスカラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○政府委員(永田彦太郎君) 資材ノ問題ニ付テ、先程長岡委員ノ御質問ノ中デ住宅ニ對スル資材供給ノ問題デゴザイマス、大體ノ所ハ企畫院ノ方カラ御説明ガアリマシタノデ御了承願ツタコトト思ヒマスガ、尙實際ニ付キマシテ商工省デヤツテ居リマスル所ヲ少シ申上ゲタガ御參考ニナルカト思ヒマスノデ、少シク申上ゲタイト存ジマス、實ハ住宅用ノ資材ガ非常ニ是迄偏在致シマシテ、不急不用ノモノガ出來ル一方、勞務者用ノ住宅デアリマスツカ、其ノ他ノ中小住

宅ノ方ニ資材ガ廻ラヌト云フ風ナ狀況ガ、

數年來カラ出テ參リマシタノデ、商工省ト

シマシテハ一昨年ノ十一月ニ木造建物建築

統制規則ヲ出シマシテ、サウシテ農林畜水

産業者ガ其ノ業務ト住居ト一緒ニ致シテ居

リマスル建物ニ付テハ百六十平方「メートル」

、其ノ他ノ建物ニ付キマシテ百平方「メ

ートル」、是以上ノ建築ヲスル時ニハ、地方

長官ニ許可ヲ申請スル、但シ軍需生産力擴

充、其ノ他商工大臣ノ指定ニナツテ居リマス

建物ハ除クト云フ建前デ、建築ニ付テ許可

制度ヲ採リマシテ、必要ナ方面ヘ資材ヲ向

ケマシテ、不必要ナ方面ヘ資材ノ流れルコ

トヲ防止スルト云フ手段ヲ執ツタノデゴザ

イマス、尙其ノ許可制度ニ伴ヒマシテ建築

ヲ許可シマス時ニ於テ、之ニ使用シ得ル物

資ノ種類、寸法、數量又ハ使途ヲ其ノ都度

地方長官ニ依ッテ指定ヲ致シマシテ、無駄ナ

資材ヲ使ハナイヤウニサセテ居リマス、是

デ大分必要ナ方面ヘ資材ガ流れルト云フコ

トガ確保サレタヤウニ思ツテ居リマス、大體

建築ノ竣功量ハ一昨年モ昨年モ變リゴザイ

マセヌガ、之ヲ計畫量ト比較致シマスルト

非常ニ竣功ノ率ガ高マツテ居リマス、是ハ本

當ニ必要ナ方面ヘ資材ガ流れテ行クト云フ

コトガ出來タノデヤナイカト考ヘテ居リマ

ス、尙建築ハ御承知ノヤウニ、釘一本足リ

ナクテモ家が建テラレナイト云フ風ナ狀態

デゴザイマスノデ、資材ノ綜合的配給ト云

フコトガ必要ト考ヘマシテ、昨年ノ六月各

地方廳ヘ通牒ヲ發シマシテ、各地方廳ニ建

築用物資配給統制協議會ト云フモノヲ作ラ

セルコトニ致シマシテ、主トシテ統制ニナツ

「ワイヤーラス」「メタルラス」「石綿」「スレー

ト」、「セメント」、網入硝子、斯ウ云フヤウ

ナモノニ付キマシテ、先程申上ゲマシタ建

築統制規則ニ依ッテ許可ヲ致シマスル際ニ、

物資ヲ指定スル時ニ、ソレニ對シテ是等ノ

物資ノ割當證明書ヲ發行スル、又許可ヲ受

ケナクモ建テラレルモノニ付キマシテモ、

其ノ建築主カラノ申請ニ應ジテ物資ノ割當

證明書ヲ發行スルト云フ建前ヲ執リマシテ、

必要ナ其ノ度ニ應ジマシテ、大體段階ヲ作ッ

テ、是ハ斯ウ云フモノニハ優先的ニ資材ヲ

配給スルト云フ標準ヲ作ツテ、ソレニ依ッテ

物資ノ綜合的配給ト云フコトヲヤラセルコ

トニ致シマス、大體昨年ノ秋頃カラ段々ト

出來テ參リマシテ、今日全府縣ノ中五ツ位

マダ出來ナイ所ガゴザイマスガ、是ハ三月

一パイ位ニハ全部出來ルト思ヒマス、ソレ

ガ出來マスルト、建築用資材ノ綜合的配給

ト云フコトガ出來ルト思ヒマスルシ、又其

ノ際ニ只今ノ問題ニナツテ居リマスルヤウナ

勞務者用住宅、或ハ其ノ他ノ中小住宅ニ優

先的ニ資材ヲ配給スルト云フ運用ガ出來ル

ダラウト思ヒマス、マア此ノ四月頃カラハ

餘程資材ガ圓滑ニ動クダラウト思ヒマス、

先程「セメント」ノ問題ガ出マシタノデアリ

マスガ、御話ノヤウニ「セメント」ハドウモ

需要ニ對シマシテ十分ノ供給ガ出來ナイノ

デアリマスガ、併シ是モ一昨年ノ冬石炭ノ

極度ノ壓縮ヲ受ケマシテ、非常ニ減ツタノ

デアリマスガ、其ノ後極力石炭ノ入手ニ努

力致シマシテ、今日ニ於テハ相當量ノ生産

ヲ見テ居ル譯デゴザイマス、大體軍需方

面、生産力擴充方面等ニハ充分ノ供給ガ出

民需ノ方ガ自然窮乏ニナツテ居リマスノ
デ、其ノ方ニ廻ラス所デ先程御話ノヤウ
ナ閣取引等モ自然行ハレルヤウナコトモ
アラウカト思ヒマスガ、必要ナ方面ニハモ
ウサウ云フコトハ全然ナインデ、各方面共
非常ニ満足シテ居ルヤウナ状態デアリマス、
特ニ又不足致シテ居リマスルノハ、御承知
ノヤウニ「セメント」ノ工場ガ九州、中國方
面ニ多ウゴザイマシテ、關東、ソレカラ中
部方面ニ比較的少イノデゴザイマス、九州、
中國デ出來タモノヲコナラヘ運バナケレバ
ナラス譯デアリマス、全體ノ數量トシテハ
「バランス」ガ取レマシテモ、輸送ノ關係カ
ラ切符ガアツテモナカ／＼現品ガ入ラスト
云フコトガ、關東及中部方面ニ主トシテア
ラウカト思ヒマス、是モ出來ルダケ此ノ方
面デ澤山生産スルコトニ努メ、又輸送ノ
方モ極力手配ヲ致シテ居リマスノデ、段々
トサウ云フコトハナクナラウカト思ヒマス
ガ、今日ニ於キマシテハマダサウ云フ地域
的ナ偏在ガアルト云フ状態デゴザイマス、
マア是モ極力努力ヲ致シテ居リマスノデ、
間モナク改善シ得ルカト存ジマス、チヨット
ソレダケ附加ヘマス

○田口一君 チヨット關聯シテ御尋ネ致
シマスガ、木材ノ話デスガ、私聽イテ居ル
所デハ、昨年木材ノ非常ナ飢饉デアラウト
考ヘテ居ツ所ガ、軍ノ要求ガ非常ニ多カッ
タノガ左程迄使用シナカッタ爲ニ、幸ヒ飢饉
ヲ免レタノダ、併シ最近ノ木材ノ伐出シハ
非常ニ減少シテ居ルノデアツデ、今年アタリ
又木材ガ非常ニ拂底スルノデヤナイカト云
フヤウナコトヲ言ウテ居リマス、ソレハ公
定價格ノ安イセイデアリマスガ、ドウデス
カ、サウ云フコトヲ聽イテ居リマス、最近

又何カ木材統制法ト云フヤウナモノガ出來
テ、強制伐出シ迄命ズルヤウナコトニナル
ヤウナ模様デアリマスガ、或ハサウスレバ
幾ラカ良クナルカモ知レマセヌガ、軍ノ要
求ガ昨年要求シテ居ツタノガ殆ド半額位シ
カ使用シナカッタ爲ニ、サウ云フコトガアッ
タノダト云フヤウナコトヲ聽キマシタ、眞
疑ハ私分リマセヌガ、若シ本年軍ノ要求ガ
昨年ノ初メ要求シテ居ツタヤウナ高ニ今年
持越シテ要求スルト云フヤウナコトニナル
ト、非常ナ木材ノ拂底ヲ告グルノデヤナイ
カト云フヤウナコトヲ聽キマスガ、サウ云
フコトハゴザイマセヌデスカ、其ノ點チヨ
ット御尋ネシタイ

○政府委員(三浦一雄君) 實ハ私ハ直接山
林行政ヲ擔任致シテ居リマセヌノデアリマス
ガ、唯物資供給ノ見地カラ、木材ニ牽連シ
マシテモ一ニ既ニ準備致シテ居ルコトモゴ
ザイマスノデ、ソレニ牽連シテ私ノ知ツテ
居ル限リノコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、
木材ニ付キマシテモ、色々用途ハ依リマシ
テ過不足ガ非常ニ顯著ナモノト、然ラザル
モノト、斯ウアルヤウニ思ヒマス、只今非
常ニ要望サレマスモノハ長大材、此ノ方面
ガ非常ニ需要ガ多イノデアリマシテ、此ノ
方面ニ對スル手當ガナカ／＼困難ダト云フ
事情ガアラウカト思ヒマス、從前デゴザイ
マス、ト、「アメリカ」、「カナダ」等カラ入レ
マシテ、需要ニ當テテ居ツタノデゴザイマス
レドモ、其ノ方面ノモノハ爲替資金等ノ關
係上輸入ヲ相當制限致シテ居リマス關係モ
アリマス、ソレカラ又長大材ハナカ／＼生
産ガ困難ナモノデアリマスノデ、其ノ方面ノ
需要ニ當テ得ナイ、斯ウ云フ風ナ事情ガア
ラウカト思ヒマス、ソコデ只今田口サンノ

御話ノアリマシタ建築用材ノ點デゴザイマ
スルガ、是ハ先程商工省ノ化學局長カラ御
話ガアリマシタ通り、色々調整ノ方策ヲ講
ジテ居リマスルノデ、時局ニ拘ラズ非常ニ
膨脹スルトモ思ヘヌノデゴザイマス、ソレ
カラ製材致シマシテ、其ノ所要ノ建築用ニ
向ケラレルモノハ相當アルヤウニ實ハ觀測
シテ居ルノデゴザイマシテ、俄ニ減ルト云
フ風ニハ考ヘラレヌノデアリマス、唯所要ノ
場所ニ所要ノ資材ヲ得ルト云フコトハ昨今
ナカ／＼困難デアリマスルカラ、サウ云フ
方面ニ付テハ格段ノ考ヘ方ヲシナケレバナ
ラスト思ヒマス、勿論全般的ニハ木材ノ需
給モ逼迫シテ居ル實情デアリマスルカラ、
樂觀ハ許サレヌト思ヒマスケレドモ、御示
シノヤウナ極度ノ木材ノ供給不足ト云フコ
トガ、只今ノ處サウ豫想サレナイノデヤナ
イカト考ヘテ居ル譯デアリマスガ、先程申
上ゲマシタ通り、是以上チヨット私モ知識ガ
ゴザイマセヌデスカラ……

○中川望君 過日來實問致シマシタコトニ
付テ、簡單ニ要領ヲ申上ゲテ置キタイト思
ヒマスガ、住宅問題ハ非常ニ重要ナ問題デ、
閣議ニ於テモ對策ヲ定メラレテ居ルノデゴ
ザイマスガ、唯私ハ如何ニ立派ナ對策ガ出
來テ居リマシテモ、其ノ本ヲ匡サナケレバ、
常ニ追ハレ勝ノコトニナルノデヤナイカト
思ハレマスノデ、只今改メテ申ス迄モナク
此ノ住宅不足ノ主タル原因ハ、工場ノ續出
スルコトデアリ、極端ニ申シタナラバ、濫
立スル結果、隨所ニ住宅不足ヲ告グルヤウ
ナコトデアルト思フノデス、詳シイコトヲ
申ス迄モナク、例ヘバ「ソヴィエト・ロシヤ」
ハ五箇年計畫、十箇年計畫ヲヤッデ行ク際ニ、
工場都市ノ移住ヲ制限スルト同時ニ、工場

ノ設立モ制限シテ、一定ノ都市ノ膨脹ヲ來サ
ヌヤウニシテ、新タニ工場都市ヲ建設スル
ト云フコトニ着々成功致シテ居ルヤウナ譯デ
アリマス、サウ云フコトヲ一定ノ計畫ノ下
ニ進メナケレバ、必ズ此ノ問題ハ續出スル
コトト思フノデアリマス、政府ニ於カレマ
シテモ、是等ノ點ハ既ニ御留意ニナツテ居リ
マシテ、工業ノ制限……統制ノコトニ付テ
モ委員會等モ御設ケニナツテ居ルヤウデアリ
マスガ、ソレガ如何ナル方針ノ下ニ、如何
様ニ具現サレテ居リマスルカ、國土計畫、
或ハ都市計畫、又此ノ工場ノ建設ニ付テモ
是迄ノ御方針、ソレカラ實際ノ狀況ヲ此ノ
際ニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○政府委員(藤岡長敏君) 今中川サンカラ
御話ガアリマシタコトニ御答ヘ致シマス、
人口ヲ多ク集メマス工場トカ學校、或ハ多
人數ヲ使ヒマスル事務所トカ云フモノガ、
自由ニ便宜ナ所ニ集メテ參リマスレバ、自然
的ニ住宅ノ拂底ヲ來スノデアリマシテ、住
宅ガ澤山集リマシテ、都市ガ所謂過大化シ
テ參リマスルコトハ、色々見地カラ申シ
マシテ非常ニ弊害ガアルノデゴザイマス、
都市計畫ニ付キマシテ大都市經營ガ宜イカ、
小都市經營ガ宜イカト云フコトハ多年議論
ノアル所デアリマシテ、ソレ／＼或程度ノ
利害得失ガアルヤウデアリマスガ、併シ近
代的ノ要求デアアル防空ト云フ點カラ考ヘマ
スレバ、過大都市ト云フモノニ付テハ致命
的ナ缺陷ガ存在シテ居ルト云フコトハ明カ
デアリマス、平時ニ於キマシテモ大キナ都
市ヲ經營シ、又都市ノ機能ヲ發揮シテ參リ
マスル場合ニ各種ノ障礙ガアルノデアリマ
スルガ、是ガ一朝敵ノ空襲ヲ受ケルヤウナ
場合ハ、平時デサヘ漸ク間ニ合フテ居ルヤウ

ナ都市ガ空襲下ニ於テ確保サレルト云フコトハ殆ド期待出来ナイ、何トカ此ノ弊害ヲ除去シナケレバナラスト云フコトハ防空上、國防上ノ見地カラ申シマシテモ、非常ニ痛切ナ要求ガアルノデアリマス、就キマシテハ御承知ノ如ク先月十日ノ閣議ニ於キマシテ、都市ノ過大化ノ防止、工場地帯ノ整理、分置ト云フコトガ閣議決定トシテ、國土防空強化ニ關スル問題ガ取上ゲラレテ居リマス、是以前ニ國土計畫トシテ、又地方計畫トシテ今申上ゲマシタヤウナ都市ノ過大化ヲ防グ、又工場ノ分散ヲ圖ルト云フコトモ方針トシテハ決ツテ居ルノデアリマスガ、如何ナル都市ニドウ云フ風ニソレヲ實施シテ行クカト云フ點デ、マダ實ハ調査ヲ進メテ居ル最中デゴザイマス、結論的ニ此ノ場所ヲ斯ウスルト云フ案ガ出来上ツテ居リマセスコトハ誠ニ申譯ナイコトデアリマス、至急此ノ點調査ヲ進メテ、今申シマシタヤウナ諸般ノ要求ヲ充タスヤウナ計畫ヲ實施シテ行カケレバナラスト實ハ存ジテ居ル次第デアリマス

○田口弼一君 此ノ間ノ説明デ大分了解致シタコトモアリマスガ、尙少シ御尋ネシタイト思フコトハ、當局ノ御説明ニ依リマシテ、此ノ住宅營團ハ防火、防空等モ考慮ニ入レテ色々建築サレ、又衛生デアルトカ云フヤウナ點カラモ、將來ノ日本ノ建築ハドウ云フ風ニソレバ宜イカト云フヤウナコトヲ御研究ニナルト云フヤウナ御話モアッタノデアリマス、ソレハ誠ニ結構デアリマスガ、又同時ニ現在拂底シテ居ル家屋ヲ一日モ速ク緩和スルト云フコトガ非常ニ急務デアリマス、ソレデ一面ハ非常ニサウ云フ立派ナ建物ヲ造ラレコトヲ考ヘラレルト

同時ニ、又一時的ノ此ノ緩和計畫トシテ急ニ色々ナ、早ク家ヲ造ラナケレバナラスト云フヤウナコトモ御有リニナルヤウニ思ッテ居リマスガ、此ノ法文ヲ見マスト、第六條ノ三ノ水道デアルトカ云々ト云フヤウナコトガアリマスガ、是ハ一方カラ見ルト、水道ヲ造ルトカ云フコトニナリマスト、場合ニ依ッテハ水道其ノ他ノ建設ヲヤルト云フノデアリマスカラシテ、住宅都市ヲ御造リニナルト云フヤウニモ見エルノデアリマスガ、住宅都市ヲ造ルト云フコトニナリマスト、非常ニ是モ計畫如何ニ依ッテハ小サイモノモ出来ルカモ知レマセヌガ、非常ニ大計畫ヲ考ヘラレテ居ルヤウニモ見エマスノデ、今御考ニナッテ居ル所ハ、此ノ集團家屋ヲ御造リニナルノカ、又所ニ依ッテ色々違ヒマセウガ、大體御見込ハ小ナルモノハドノ位、或ハ大ナルモノハ一ツノ都市デモ建設スルト云フヤウナ御考デゴザイマスカ、一番先ニソレヲチョット御尋シテ見タイト思ヒマス

○政府委員(熊谷憲一君) 御答ヘ申上ゲマス、此ノ住宅營團デ建設致シマス住宅ハ相當集團ノニ建テル計畫ハ致シテ居ルノデアリマスガ、最小何戸以上ノ集團地ヲ作ル、最大何戸迄ノ集團地ヲ作ルト云フヤウナコトヲ決定スル所迄行ッテ居ナイノデアリマス、ト申シマスノハ、工場ノ分布ノ狀態ニ依リマセウシ、又ソコニハ交通機關ガドウナッテ居ルカト云フヤウナ關係モ十分考ヘナケレバナラストデアリマシテ、果シテドノ程度ノ家ヲ建テ得ル土地ガアルカト云フコトモ大キナ問題デアリマシテ、只今ノ處最小限度、最大限度ドノ位ノ集團計畫ト云フコトハマダ決定シテ居ナイノデアリマ

ス、唯經營上色々ナ點デ、或程度ノ集團住宅デアレバ非常ニ便利デアリマスシ、又經費モ安ク付クノデアリマシテ、今申上ゲタヤウナ事情ニ依ッテソレノ拘束ハ受ケルノデアリマスカレドモ、相當ノ集團住宅地ヲ拵ヘタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ

○田口弼一君 ソレカラ同ジ十六條ノオシマヒノ方ニ「前各號ノ業務ニ附帶スル事業」ト云フノガアリマスガ、昨日或委員ノ方カラ色々御尋ガアリマシテ、ナカ／＼經營上非常ナル困難デ此ノ營團ガ損失ヲ來スノデハナカラウカト云フ御心配モ非常ニアルヤウデアリマスガ、此ノ附帶事業ノ中ニハ、或ハ土地ヲ廣ク買ッテ置イテ、一方デハ住宅ヲ造リ、又場合ニ依ッテハサウ云フ所ヲ分讓デモシテ、其ノ利益ヲ得テ、一方デ其ノ損失デモ補填スルト云フヤウナ、サウ云フ事業モ矢張り御考ニナッテ居ラレノデアリマセウカ、前各號ノ業務ニ附帶スル事業ト云フノハサウ云フコトヲ御考ニナッテ居リマセウカ、又此ノ中ニハ多少集團地ガ出來レバ電燈トカ瓦斯トカ云フヤウナ事業モ附帶シテ、若シ斯ウ云フ方面ノ其ノ利益ヲ以テ幾ラカ營團ノ方ノ家賃ノ安イトカ云フヤウナコトデモ、サウ云フ點デ補填スルト云フヤウナ御考デモアリマスノデスカ、サウ云フ點若シ伺ヘレバ、此ノ際願ヒタイト

○政府委員(熊谷憲一君) 差當リノ所ハ土地ノ分讓デアリマスツカ、又資材ノ斯ウ云フ拂底シテ居リマス際ニ、電燈或ハ瓦斯ノ施設ヲ造ルト云フヤウナコト迄ハ實ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、只今差當リ考ヘテ居リマスルコトハ、住宅營團デ民間ノ技

能者ガ拂底シテ居リマスカラ、技能者ノ養成デアリマスツカ、或ハ住宅營團デ色々都市向、農村向ノ住宅ノ模範ノ設計ヲヤルト云フコトニナリマスカラ、サウ云フ技術的ノ指導、或ハ住宅地ノ相談ニ乗ッテヤルトカ、又住宅改善デアリマスツカ云フヤウナコトヲ致サウカト考ヘテ居リマス、尙出來マスレバ分讓住宅ノ色々……疊、建具ノ壞レルヤウナ場合、サウ云フ修繕ヲ引受ケテヤルトカ、或ハ進ンデハ製材トカ、或ハ瓦ヲヤルトカ云フヤウナコトヲ今考ヘテ居リマス

○田口弼一君 政府委員ノ御話ヲ承リマスト、二十五圓位デ土地ヲ手ニ入レルト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、サウスルト其ノ中ニ色々道路デアルトカ、或ハ色々ナ潰レル土地ガ澤山出來ルデアリマセウガ、サウスルト御買ヒニナル土地ハ、道路其ノ他ノ敷地デドノ位潰レルカ知リマセヌガ、先ヅ四割潰レルトシマスレバ、此ノ潰レ方ガ集團ノ所デハ、此處ニアリマスヤウニ、色々斯ウ云フ授産場、集會所、其ノ他ノ厚生施設ニ充テルト云フヤウナコトガアルシ、或ハ多少大キクナレバ小公園ミタイナモノモ御造リニナラナケレバナラスト云フヤウナ感じモ致シマスノデ、相當設備ガ多カラウト思フノデスカ、假ニ四割位潰レルトシマスレバ、十五圓位デ手ニ入ラナケレバナラスト、東京近傍デ十五圓位デ手ニ入ラナケレバ、假ニ二十五圓デ御買リニナッテモ算盤ニ合ハヌコトニナルダラウト思ッテ居リマスガ、サウスルト相當遠イ土地ニナルノデヤナイカト云フ感じモ致シマスノデスカ、サウシマス通勤ノ時間ガ非常ニ掛カリ、交通ノ爲ニ非常ニ經費ヲ要スル、都市

迄ニ少クトモ一時間近ク掛カルト云フコト
ニナルノデヤナイカト思ヒマスガ、サウ云
フ點ハ何カ、矢張り相當土地ガ御手ニ入ル
御見込ガゴザイマスノデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 大體ノ計畫ガ二
十五圓ト云フ事業計畫デヤツテ居ルノデアリ
マス、此ノ間カラ申上ゲマシタヤウニ、二
十坪ノ住宅デアリマスレバ、五十坪ノ土地
ト云フヤウナ、敷地ト云フコトニ致シ、又
十五坪デアリマスレバ四十坪、十坪デア
ラバ三十坪、相當贅澤ナ土地ヲ見込シ
居リマスノハ、此ノ中カラ勿論道路敷地等
モ取ル積リデ考ヘテ居リマス、又中ニハ一
戸々別々ニ建テマセヌデ、只今同會
デヤツテ居リマスル四戸建トカ、長屋式ノモ
モ考ヘテ居リマシテ、サウ云フ場合ニ於キ
マシテハ事業計畫デハ相當ノ敷地ガアリマ
スルノデ、サウ敷地モ要ラナイト云フコト
モアリマスケレドモ、大體道路ノ如キハ、
其ノ敷地ノ中ニ見積ツテ居ル積リデアリマ
ス、尙只今御話ノアリマシタ色々厚生施設
ヲ致シマス爲ニ敷地ガ要ルヤウニナル譯デ
アリマス、厚生施設ノ敷地ト致シマシテハ
別途ニ計算ヲ致シテ居リマス、此ノ中カラ
取ル豫定ハナイノデアリマス、一體二十五
圓デ適當ナ土地ガ手ニ入ルカドウカ、是ハ
非常ナ問題デアリマシテ、是ヨリ勿論非常
ニ高イ場合ガアリマセウシ、ソレト同じ或
ハ安イ場合モ出來マセウガ、只今御話ノア
リマシタ交通ノ關係、工場トノ距離ト云フ
コトハ餘程考ヘネバナラス、理想的ニ言ヒ
マス、ドイツイナシカノ學者ハ、通勤ノ距
離ハ三十分位行ケル所ガ理想的デアルト
云フヤウナコトヲ言ツテ居ルヤウデアリマス
ガ、サウ云フ交通ノ關係モ考ヘマシテ、出

來ルダケ一ツ安イ土地ヲ物色致シタイト、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○中川望君 住宅營團建設ニ係リマス住宅
ハ當局ニ於テモ模範ノモノヲ建テタイト

云フコトヲ承リマシタガ、唯私共ノ心配シ
マスノハ、資材ノ不足ノ關係ヤラ、又人的
ノ方カラ申シテモ、不自由ナ點ガアルノデ
アリマスカラ、餘程困難ガ伴フノデハナイ
カト云フコトモ心配スルノデアリマス、ソ
レニ付キマシテ丁度關東大震災ノ後ノ住宅
補充ノ爲ニ、東京府、市等ニ於キマシテ、
府營、市營ノ住宅モ建設シテ、丁度今二十
年モ経ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ外住宅
組合モ澤山出來タノデアリマスガ、其ノ成
績ガドウ云フ經過ヲ經テ今日ハドウナツテ
居ルカ、アノ當時モ随分資材ハ……大震災
デアリマシテモ一部ノコトデアリマシテ、
資材ハ今日ノヤウナ不足ノコトハナカッタ
ト思ヒマス、人デモ各地カラ集ツテ參ツノ
デアリマスガ、而モ尙ドウモ建築ノ出來上
リガ彼此レ言ヘテ居リマスシ、其ノ後隨分
修繕ト云フコトニ苦シンダト云フコトモチ
ヨイノ耳ニシテ居リマス、又ナカノ管
理上引合ハスト云フコトモ聽イテ居ルノデ
アリマス、ソレ等ノコトニ付テ十分ノ御調
ガアリマスレバ參考ノ爲ニ大略ノ所ヲ御示
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(熊谷憲一君) 御答ヘ申上ゲマ
ス、大體此ノ前ノ住宅難ノ起サマシタノハ
大正八年頃カラデアリマシテ、其ノ後又震
災ノ影響デ、相當問題ニナツタノデアリマス、
丁度大正八年カラ昭和十四年度迄ニ住宅關
係ノ爲ニ融通致シマシタ低利資金ノ總額ハ
一億五千三百六十九萬圓ニ上ツテ居リマス、
此ノ資金ニ依ツテ建テラレマシタノハ約九

萬四千餘戸ニ上ツテ居ルノデアリマス、勿
論此ノ中ニハ道府縣デアルトカ、或ハ市町
村ノ公營ノ住宅モアリマスルシ、又住宅組
合デ作ツタノモアリマス、住宅組合ノ方ヲ

申上ゲマス、現在ニ殘ツテ居リマス住宅
組合數ハ約三千二百組合デアリマシテ、其
ノ持ツテ居リマス住宅戸數ハ三萬六千餘
ニ上ツテ居ルノデアリマス、處ガ御承知
ノヤウニ丁度大正八年、九年頃非常ニ景
氣ガ好カッタノデ、其ノ時ニ只今申上ゲ
タヤウナ住宅難カラ致シマシテ、相當ノ
住宅ガ建テラレマシテ、住宅難ハ相當緩
和サレタノデアリマスガ、御承知ノヤウニ
昭和二三年、四五年頃非常ナ不景氣ガ參リ
マシタ爲ニ、一般ノ庶民階級ト謂ヒマスガ、
住宅組合等ニ入ツテ居リマス階級ノ收入ガ
少クナリマシテ、其ノ後又期間ガ長クナル
ニ從ヒマシテ、家族ノ中ニモ色々異動ガア
ルト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、住宅
組合ノ、公營住宅ハ左迄困ツテ居ナイノデア
リマスガ、段々ト住宅組合ノ中ニハ困ル者
ガ出來テ參ツタノデアリマス、御承知ト思
ヒマスルガ、六十二三議會頃カラデアツタ
ト思ヒマスガ、其ノ低利資金ノ償還ニ付キ
マシテ色々建議ヤ陳情ガ出テ居ルノデア
リマシテ、或ハ利子ヲ減ラシテ呉レトカ、
負ケテ呉レトカ、或ハナイヤウニシテ呉レ
トカ、或ハ償還期限ヲ相當長クシテ貰ヒタ
イ、或ハ家屋稅ヲ免除シテ呉レトカ、色々
ナ建議ヤ陳情ガ起ツタノデアリマス、ソレ
カラ又今度ハ府縣側カラ見マスルト、府縣
ガ一遍大藏省カラ金ヲ借リマシテ、ソレヲ
住宅組合ニ轉貸スル關係ガアリマス、府
縣ト致シマシテモ、大藏省ニ對シテハ金ヲ
拂ハナケレバナラスガ、住宅組合カラハ府

縣ニ償還シテ貰ヘナイト云フヤウナ關係カ
ラ致シマシテ、其ノ後住宅組合ニ對シマシ
テ、餘リ金ヲ貸スコトヲ、肩替リスルコト
ヲ好マス、其ノ外色々償還金ニ付テ、大藏

省カラ責メラレマシテ、非常ニ困ツタト云
フヤウナ情況モアツタノデアリマス、其ノ
後昭和七年ニ利子ノ引下ヲ致シマス、
或ハ應急措置ト致シマシテ、住宅組合其ノ他
ニ對シマシテ、農村及中小商工業關係ニ元
利支拂資金ヲ昭和七、八、九年、此ノ三年
度ニ互ツテ、約一千萬圓近クノ資金ヲ供給
シタ、斯ウ云フコトモアツタノデアリマス、
其ノ後又色々建議、陳情ガアリマシテ、
昭和十一年ニハ、極ク支拂ガ困難デ、償還
ガ困難デアリマシタ住宅組合ニ對シマシテ
ハ、償還期限ヲ昭和十年度以降二十箇年以
内ニ延長スルコトヲ許シマシテ、ト同時ニ
長期借換ノ資金ト致シマシテ、千八百萬圓
ノ融通ヲ致シマスシ、又三分八厘ノ利子ヲ
三分六厘ニ引下ゲタト云フヤウナコトモ
アツタノデアリマス、ソコデ住宅組合ノ低
利資金デ建テラレマシタ一般道府縣、市町村
營ノ所謂公營住宅ト云フモノハ相當成績ヲ
舉ゲテ居リマスガ、此ノ住宅組合ニ付キマ
シテハ、今ノヤウナ色々事情カラ致シマ
シテ、多々困難ナ點モアツタヤウニ思フノ
デアリマス、之ニ對シマシテ、相當我々モ
考ヘナケレバナラスト思ツテ居ルノデアリ
マス、丁度最近住宅ガ非常ニ拂底致シテ居
リマス、從ツテ家賃ガ高クナル、家ノ値段ガ高
クナルト云フヤウナ情況デゴザイマスルカラ、
整理ノ時期トシテハ今ガ一番宜イノデハナイ
カト云フヤウニ考ヘマシテ、厚生省ニ於キ
マシテモ、又住宅營團ガ出來マスレバ、一
ツ何カ之ガ對策ヲ立テマシテ、住宅組合ノ

整理ナリ指導ヲ致シマシテ、更ニ更生ヲシテ、此ノ住宅不足ニ當リ住宅組合ガ更ニ働クヤウナ風ニ考ヘテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ只今考ヘテ居リマス

○小坂梅吉君 極メテ簡單ニ御伺ヒシタイノデスガ、私病氣ノ爲ニ缺席シテ居リマシテ、或ハ私ノ質問ガ既ニ御答ガアツタカモ存ジマセスガ、若シ御答ガアリマシタラ差控ヘマスカラ御速慮ナク……此ノ住宅難緩和ノ爲ニ住宅營團ヲ作ルト云フコトハ、最モ時宜ニ適シタ方法デアリマシテ、我々モ贊意ヲ表スルノデアリマスガ、此ノ住宅營團ヲ作ルト土地ノ選定ト云フモノハ、是ハモウ何處デモ勝手ニヤルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスガ、或ハ國ガ之ニ關與シテ、サウシテ選定サセルノデアリマスカ、其ノ點ヲ先ヅ第一ニ御伺ヒシタイ、ソレカラ住宅營團ト都市計畫ト云フモノハ極メテ密接ナ關係ガアリマシテ、例ヘバ住宅ガ立派ニ建設スルコトガ出來マシテモ、兒童ノ教育トカ、或ハ交通機關トカ、今日デハ「ガソリン」ガ極度ニ統制サレテ市民ノ足ト云フモノハ殆ド奪ハレテ相當現在ノ交通ニ大障礙ヲ來シテ居ルコト、ソレカラ一方ニ於テハ殊ニ衛生ノ方面カラ申シマシテ、水道トカ、塵芥ノ處理トカ云フヤウナコト、市民ノ實際生活ニ觸レタ問題ガ此ノ住宅營團ニハ極メテ密接ナ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付テ如何ナル方法ヲ御採リニナルノカ、唯家屋ヲ拵ヘテ住マハセルト云フコトデハ、總テノ環境ガ伴ハナクテハ一向其ノ意味ヲ成サスノデアリマス、現ニ東京市デ、大正十二年ノ大震災災ノ時ニ、御承知ノ如ク我々ハ着ノミ着ノ儘デ逃ゲタノデアリマスガ、幸ニ後藤サンガ内務

大臣、永田君ガ東京市長デ、親分子分ノ關係デシタカラ、後藤サンナシカ非常ニ馬力ヲ掛ケテ、芝浦アタリニ資材ナンカ置キ切レナイ程米國カラ持ツテ來タノデアリマス、今日ノ情勢カラ云フコト、家屋ト云フモノニ付テ皆實際苦シデ居ルノデアリマスガ、先程御答辯ガアリマシタカラ、稍、安心シテ居リマスガ、今日デハ針一本、「トクシ」一枚、「セメント」一俵モ民需ハ苦シデ居ル次第デアリマシテ、其ノ點ニ付テ十分ナ御配慮ガアルトハ信ジテ居リマス、ソレカラ又經營ノ點ニ付キマシテモ、住宅營團ト云フモノハナカク困難ナコトモアラウト思フノデアリマス、例ヘバ、東京市デ月島ニ市營住宅ヲ拵ヘタガ、ドウモ結果ガ惡クテアレヲヤメタイト云フヤウナコトデアツタ、併シ段々土地ガ變ツテ參リマシテ、昔月島ニ市營住宅ヲ建テタ時分ハ殆ド人モ住マナイ程デアツタ、處ガ今ハ勝鬨橋ガ出來テ、殆ド東京ノ交通ノ心臟ニナルヤウナ土地ニナツタ、將來此ノ住宅營團ト云フモノニ付テハ、都市計畫ト云フコトニ付テ餘程關心ヲ持ツテ戴イテ、此ノ土地ガ將來ドウ云フ風ニ伸ビルノカ、此ノ土地ガドウ云フ風ニ文化的ニナルノカ、高所大所カラ十分研究シテ、此ノ土地ヲ選定シタイト、現在ノ月島ノヤウニ、機巧テ、サウシテ櫛櫛ヤ櫛櫛ヲ列ベテ都市ノ美觀ヲ殺グ、アア云フ風ナコトガ將來起リ得ルコトガ度々アルノデアリマセウ、現ニ私共子供ノ時分ニハ芝ノ新網、新錢座、アレハ殆ド東京ノ貧民窟ノ代表的ナ所デ、アレヲ列車カラ見マスト、アノ醜態ハナカッタノデアリマスガ、震災デ幸ヒ皆焼拂ツテ、昔ノ狀態ガ一變シ、都市ノ美觀ヲ添ヘテ來タノデアリマス、ア、云フ風ナ

コトデ無暗ニ勝手ニ造ラレテハ困ル、將來都市計畫ノ上ニ於テ、都市ノ變遷等ヲ考ヘマスト、餘程研究スベキ問題デナカラウカト考ヘテ、此ノ點ハ造詣ノ深い御役人諸君ノ御考ノ所ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(熊谷憲一君) 小坂サンノ御質問デアリマスガ、非常ニ御尤ナ御意見デアリマス、土地ノ選定ト云フコトガ非常ニ大キナ問題デアリマス、大ニ致シマシテハ先程御話ガアリマシタ國土計畫或ハ防空計畫トモ關聯ヲ致スノデアリマス、又小ニ致シマシテハ、都市計畫ニ依ツテ、御話ノアリマシタヤウニ、工場地域トカ、住宅區域トカ、色々問題ガアリマス、サウ云フ關係ノ役所ト能ク連絡ヲ執ツテ、其ノ選定ヲ誤タナイヤウニセネバナタイト考ヘテ居リマス、サウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、此ノ住宅營團ノ中ノ第十五條ノ規定ニ評議員ヲ置クト云フヤウナコトニナツテ居リマシテ、是ハ民間ノ、勿論其ノ道ノ學識經驗者ヲ網羅致シマスノハ當然デスガ、ソレ以外ニ内務省、或ハ商工、農林ノ如キ資材關係ノアリマスルモノ、或ハ大藏省ノ金融關係トモ住宅債券ニ於テハ密接ナ關係ガアリマスカラ、サウ云フ役所カラモソレゾレ適當ナ方ニ評議員トナツテ戴キマシテ、過チノナイヤウニ致シテ行カネバナタイト考ヘテ居リマス、尙住宅營團ガ土地ヲ選定スルニ當リマシテハ、十分サウ云フ評議員會等デ案ヲ練リマスシ、又三十五條ニ住宅營團ハ每事業年度ノ初ニ於テ事業計畫ヲ定メテ主務大臣ノ認可ヲ受ケロ、斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、何處々々ニ斯ウ云フ土地ヲ買收致シマシテ、ドレダケ家ヲ建テルト云フヤウナコトハ其ノ際ニ事業計畫ニ載ツテ來ル譯デアリマス、監督官廳ト致シマシテハ、サウ云フ點ニ付キマシテモ、能ク注意ヲセネバナタイト思ヒマス、御言葉ノアリマシタ通り今衛生方面、或ハ工場等ノ通勤ノ關係、交通關係モ能ク注意シナケレバナラス、又學校、或ハ塵芥ノ焼却ノ關係、地方當局トモ密接ナ聯絡ヲ執ラネバナラスト考ヘテ居リマス、色々ト關係各方面ニ相談致シマシテ、只今御言葉ノアリマシタヤウニ考ヘタイト思ツテ居リマス

○小坂梅吉君 尙極メテ簡單ナ質問デスガ國ガ金ヲ出シテ住宅營團ヲ助ケテ、住宅困難ヲ救フト云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、其ノ建築ハ極メテ大切ナコトデ、此ノ監督ト云フモノハ一體誰ガヤリマスガ、營團ノ建築ノ監督ト云フモノハ……

○政府委員(熊谷憲一君) 營團ノ綜合的ノ監督ハ主務大臣、即チ厚生大臣ガヤリマス、全體ノ監督ハ勿論關係各省ト密接ナ聯絡ノ下ニヤリマス、ソレカラ各地方ニ實際建築ヲ致シマスル場合ニ於キマシテハ、大體其ノ建築工事ハ民間ノ請負業者ニ御願ヒスルコトニナルト思ヒマス、其ノ監督ハ住宅營團ノソレノ役職員ガ置カレルコトニナリマスカラ、其ノ役職員ガ監督ヲ致ス、斯ウ云フコトニナリマス

○小坂梅吉君 詰リ住宅營團ノ役人ガヤルノデスカ、官吏ガヤルノデスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 住宅營團ノ職員ガ現場監督ヲヤル譯デアリマシテ、住宅營團ノ職員ハ官吏デハアリマセヌ

○小坂梅吉君 ソレハ矢張り營團ノ役人デ、私設會社ノ社員ミタイナ者デスナ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ……ソコデ私ハ尙伺ツテ置キタイノハ、ナカク……請負ト云フモノハ監督

ノ目ガ屈カナケレバ手拔カリガアル、ソレガ爲ニ隨分風水害デ非常ナ災難ヲ受ケテ居ル、學校アタリデモ相當建築技師ガ監督シテ居テモ間違ヒガアル、兒童ヲ澤山殺シタト云フコトガアル、況ヤ國ノ方針トシテ極メテ完全ナ住宅ヲ造リタイト云フノニ、ドウモ住宅營團ノ役人ノ監督デハ不行屈デナイカト思フ、現ニ苦イ經驗ヲ私ハ持つテ居ル、私ハ阪谷市長、奥田市長サン以來長ク三十年以上自治制ニ關係シテ居リマスガ、後藤サンガ市長時代ニ、月島ニ市營住宅ヲ拵ヘル時ニ、市ノ建築部長ガ設計シテ、建築ノ役人ガ毎日行ッテアレハ監督シテ、ソレカラ愈々落成ニタツタ時ニ、是ハ亡クナリマシタガ、芝區選出ノ市會議員野村幸吉氏ト云フ古イ市會議員ガ居ッテ、建築ニ付テハ非常ニ造詣ノ深イ人デ、此ノ人ガ検査ニ行ッテ、白分デ屋根ニ梯子ヲ掛ケテ瓦ヲメクツタ、兩面磨キト云フノガ片面デアル、三寸貫ナシカデモ丸味ガアツテ實ニヒドイト云フノデ市會ノ問題ニシタコトガアル、前田助役ガ誠ニ相濟マスと言ッテ非常ニ陳謝シタコトガアツテ、ナカノ役所ノ役人ガ毎日行ッテ専門ニ監督シテ居ッテモ、マア請負人ト云フ者ハドコカデ手ヲ抜イテ儲ケルノガ本能デスカラ、ソレヲ監督ヲシテ、其ノ監督ヲ組合ノ役員位ガ御五ニヤツタノデハ、私ハ建築上甚ダ遺憾ナ點ガアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ市アタリデモ澤山ノ材料仕樣書ヲ取ッテヤカマシイ條件ヲ付ケテヤツテモ、自然學校ノ建築デモ屢々苦イ經驗ガアル、況ヤ營團デ造ルノニ、専門家ノ技師ガ監督シテサヘウマク行カナイモノガ、營團ノ月給ヲ取ッテ居ル職員ガ監督ヲ十分ニシロト云

フコトハ、私ハ無理ガアリヤシナイカ、ソレニハ少シ國ガ關心ヲ持つテ、所謂其ノ上ヲ監督スルト云フヤウナ御方針ヲ御執リニナルカドウカ、此ノ點ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(熊谷憲一君) 至極御尤ナ御意見デアリマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ十分注意致シタイト考ヘマス、住宅營團ノ職員ハ勿論監督致シマスノハ、技術者ガ特別ナ一ツノ訓練ヲ致シマシテ、サウ云フ過ノナイヤウニ致シタイト存ジマス、尙場合ニ依リマシテ、先程ハ申上ゲナカッタノデアリマスガ、厚生省ト致シマシテモ住宅ニ關スル一ツノ專門ノ課ガアリマシテ、ソコニ相當ノ技術者モ居リ技師モ居リマスガ、煩瑣ニナラナイ程度ニ於テ十分サウ云フ點ヲ注意致シマシテ、不正ノナイヤウニ心掛ケタイト思ヒマス

○小坂梅吉君 了承致シマシタ

○伯爵松本宗隆君 チョット私ハ今日ノ住宅難ヲ打開スルニハ、一番「アパート」ガ捷徑デアラウト思フ、就キマシテハ此ノ「アパート」ノ建設ニ付テ御當局ハ大體ドウ云フ方針デ進メテ行カレルノデアリマスルカ、伺ヒタイノデス

○政府委員(熊谷憲一君) 勿論御話ノアリマシタヤウニ、多數ノ人ヲ入レマスノニハ「アパート」ハ非常ニ結構ト考ヘテ居リマス、貸家組合法ニ於キマシテ特ニ四十一・二條ニ於キマシテ貸室組合及ビ其ノ聯合會ヲ作ラセルト云フコトニナツテ居リマス、所謂貸室組合ヲ作ラセルコトニナツテ居リマシテ、ソレニ對シマシテハ貸家組合ト同ジヤウニ色々便宜ヲ圖リマシテ、「アパート」ガ造ラレ

ルヤウニ考ヘテ見タイト思ッテ居リマス、尙「アパート」ニ付キマシテハ色々此ノ前カラ申シマスヤウニ、根本的ノ住宅政策トシテ相當考ヘネバナラス問題ガ多クアルコトハ此ノ前申上ゲタ通りデアリマスガ、住宅難緩和ノ一方法トシテハ、確カニ一ツノ十分考ヘネバナラス大キナ問題デアリマシテ、只今申上ゲマシタ貸室組合ヲ獎勵致シマシテ、「アパート」ノ建設ヲ致シマスルト同時ニ、先般チョット申上ゲマシタガ、民間ノ大工場、鑛山ニ於キマシテ、獨身勞務者ノ爲ニハ事業主自ラ是等ノ「アパート」ヲ建設致サレマスヤウニ、從前ト同ジヤウニ資金ナリ資材ノ世話ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○伯爵松本宗隆君 サウスルト政府ハ自身ニ「アパート」建設ト云フ御考ハナイノデゴザイマスカ

○政府委員(熊谷憲一君) 全體ノ住宅政策ト申シマスカ、數量ノ問題カラ此ノ間チョット觸レタノデアリマスガ、大體此ノ十六年度以降ノ住宅建設戸數ノ方針ト云フモノヲ申上ゲテ見タイト思フノデゴザイマスガ、是ハ色々今日迄ノ日本ノ住宅ノ需要供給等ノ狀況等ヲ見マス、ドウシテモ一年ニ三十萬戸ノ住宅ガ必要ナルノデアリマス、ソコデ三十萬戸ノ住宅ヲ矢張り十六年度以降ニ於キマシテハ有ラヌル住宅供給機關ヲ總動員致シマシテ建設行カナケレバナラスト、斯ウ考ヘテ居リマス、デ三十萬戸ト申上ゲマシタガ、其ノ中ニハ勿論「アパート」モアルノデアリマシテ、世帯向ノ住宅ヲ二十五萬戸、ソレカラ「アパート」ヲ二十萬人分造ルヤウナ用途デ色々物資其ノ他ノ計畫ヲ建ッテ居ルノデアリマス、世帯向

住宅ガ二十五萬戸、獨身者向ノ「アパート」ガ二十萬人分デアリマス、其ノ二十萬人分ノ獨身者ノ共同宿舍ト謂ヒマスカ、「アパート」ト謂ヒマスカ、ソレヲ一般世帯向住宅ニ換算致シマスルト約五萬戸位ニ當ルノデアリマス、二十五萬ト五萬デ三十萬ニナルノデアリマスガ、其ノ中デ只今申上ゲマシタ「アパート」ノ獨身者ノ共同住宅二十萬人分ガ大體ニ於テ事業主ニ對シテ資金及物資ノ世話ヲ致シマシテ建設戴クト云フ計畫ガ進ンデ居リマス、ソレカラ二十五萬戸ノ世帯向住宅ノ中デ、六萬戸ハ此ノ住宅營團、此ノ三萬戸ハ、矢張り事業主ニ於テモ單ニ獨身者バカリデアリマセスカラ、三萬戸ハ所謂世帯向ノ住宅ヲ建設行カウ、後ノ十六萬戸ヲ民間ノ貸家投資家、貸室業者「アパート」經營者ニ建設戴クト云フ計畫ノ下ニ、有ラヌル住宅機關ヲ總動員致シマシテ進ンデ行キタイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウ致シマスルト、全體ノ計畫ノ中デ相當「アパート」ト申シマスカ、御話ニアリマシタヤウナ共同宿舍ノモノガ相當出來ル恰好ニナルノデアリマス、「アパート」バカリ建設マシテモ、今度ハ世帯向住宅ガ必要ナモノガ多クアルノデアリマス、其ノ世帯向住宅ガ二十五萬戸ノ中、六萬戸ダケヲ住宅營團デ考ヘテ行キタイ、只今ノ所デハ左様ナ計畫ヲ立ッテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵立見豐丸君) 内務、商工、企畫院ノ方ニ何カ御質問ゴザイマセスカ、アリマシタラソレヲ先ニ濟マシテ戴キタイト思ヒマス

○小坂梅吉君 私ハ少シ内務ニ關係シタコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマスガ、宜シウゴ

ザイマスカ

○委員長(子爵立見豐丸君) 宜シウゴザイマス

○小坂梅吉君 私ノ申上デマスコトハ、此ノ案自體ニハ直接關係ノナイコトデアリマス。ケレドモ、結局住宅難、其ノ原因ニ付テ厚生省並ニ内務省ノ御役人ニ一ツ蒙ラ啓イテ戴キタイト思ヒマス、成ル程軍需工業等ガ殷賑ヲ極メテ居ル、私地方ノコトハ言ヒマセヌ、東京デ生レタ者デスカラ、東京近所デモ非常ニ住宅難ヲ感ズル、別ケテ市中アタリニハ殆ド空地ガアツテモ住宅ヲ拵ヘル人ガナイ、住宅難ヲ救フテ俺ガ犠牲的ニヤラウナンテ云フ人ハ一人モナイノハ、結局家賃ト地代トヲ所謂政府ノ抑ヘタ値段ガ是正サレナイカラ住宅ガ出来ナイ、例ヘバ麴町區一區ヲ見マシテモ非常ニ善良ナ地主ハ安イ地所ヲ昔カラ持ッテ居ル、ソレカラ其ノ後借りタ人ハ馬鹿ニ高イ家賃、地代ヲ取ラレル、昔カラ借りテ居ル人ハ郡部ノ家ヲ借りルヨリ麴町ノ真中ニ、京橋デモ、日本橋デモサウデスガ、安ク住ンデ居ル、住ンデ居テ實際ノ計算カラ云フト、年々歳々増税デ負擔ハ重クナツテ來ル、銃後ノ勤メデ色々ナ寄附金ハ來ル、國民ノ負擔ト云フモノハ御承知デセウガ、二三年此ノ方ハ非常ニ加重サレテ居ル、ソコヘ持ッテ來テ、建築費モ、昔カラノ安イ家賃デ決メタ、ソレヨリ上ゲチヤナラスト云フカラ此ノ頃ハ地所ヲ買ハウトカ、家ヲ拵ヘヨウトカ、空地ガアルケレドモ、行ッテ家作ヲ造ラウナント云フ人ハ東京市中ニ一人モナイノハ、結局役人ガ机上デ勝手ニ決メテ、例ヘバ今迄ノ價格ヨリ之上上ゲナイト云フコトデ抑ヘラレテ居ル、ソレヨリモ百尺竿頭一步ヲ進

メテ是正シテヤッタラドウカ、高イヤツハ下ゲルトカ、餘リ安イヤツハ今日ノ時代ニ相應スルヤウニ相當上ゲテヤルト云フヤウニ是正スレバ宜イノダガ、良イモノモ、惡イモノモ無暗ニ公定ガ公定ダ抑ヘル、ソコニ市内ノ住宅難ノ來ル大ナル原因ガアルノデヤナイカ、東京市内ノ家主地主ノ多數ノ者ハ誰レデモサウ言ッテ居ル、税金バカリ高イ、掛リハ多クナツテ來ルシ、家賃ハ取ッテ税金ヲ納メレバナクナツテシマフ、斯ウ云フヤウナ考デハ、連モ住宅難ヲ緩和スルコトハ出来ナイ、矢張り住宅難ヲ救フニハ役所ノ力モアルケレドモ、國民ノ協力ヲ求メテ、國民ニ住宅ヲ拵ヘサセテ、犠牲的ニヤラウ、利益ハ斯ウ云フ風ニ今日ノ物價政策、低金利ノ世ノ中デ澤山ナコトハ出来ナイガ、此ノ位ノ利潤ヲ心配シテヤラウト云フ親心デ、矢張り市民ヲ指導シテヤラナケレバ、唯御役所ノ斬リ捨テ御免デ一切値段ヲソレヨリ上ゲルコトハ相成ラス、高クテモ安クテモ宜イノダト云フヤウナ杓子定規デハイカスト思フ、其ノ點ニ於テ賢明ナル御役人ノ「イデオロギー」ヲ御伺ヒシタイ

○政府委員(熊谷憲一君) 御答ヘ申上デマス、只今民間ノ事業家ノ貸家投資家ト謂ヒマスカ、貸家業者ト謂ヒマスカ、建築ヲ差控ヘテ居リマスル一番主ナル原因ハ、建築費ガ高イト云フコトニ私ハ在ルト思ヒマス、是ハ大都市ニ於キマスルサウ云フ業者ノ聲ヲ相當多數聽イテ見タノデアリマス、現在非常ニ建築材料ガ高イ、高イカラシテ折角今拵ヘテモ今後ノ見透シハドウダラウ、建築費ガ下ッテ參リマスレバ、ソレダケ家賃ガ取レナイカラ結局損デハナイカ、其處ニ私ハ原因ガアルト思フ、此ノ前「ヨーロッパ」

戰爭後ノ住宅難ナシカモ、地代、家賃ノ統制ハ別段シテナカッタノデアリマスガ、矢張り先ノ見透シ、先ノ動キハドウナルカト云フコトガ、非常ニ建築ノ業者間ニ重壓ヲ加ヘマシテ、家ガ足りナクナツタノデハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、ソコデ實ハ昨年ノ十月ニ地代家賃統制令ヲ出シタノデアリマス、地代、家賃統制令ヲ作リマス考モ、一方ニ於キマシテハ、勿論低物價政策ナリ國民生活安定上、高イ家賃デハ一般ノ者ガ困ルノデアリマスカラ、其ノ點モ考ヘナケレバナリマセヌシ、同時ニ今度ハ貸家投資家ト謂ヒマスカ、其ノ方ニ一定ノ是カラ先キ地代、家賃ハドレ位ガ妥當デアラウカ、ドレ位ナラバ許サレルノデアルカト云フコトヲ、標準ヲ示スコトガ必要デハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、今御話ニアリマシタ……ソレ迄ニ既ニ貸家ニナツテ居ルモノ、又貸地ニナツテ居リマス地代家賃ハ原則トシテ上ゲナイ、唯非常ニ高イトカ或ハ非常ニ安イト云フ場合ニハ、ソレハ届出ニ依ッテ許可ガアレバ上ゲタリ下ゲタリ出來ル、今後建テマス家ニ付テハ、ドウシテモ是ハ貸家業者トシテモ算盤ノ持テルヤウナ矢張り家賃ハ取り得ルヤウニシナケレバイカヌデヤナイカト云フコトデ、昨日デアリマスカ一昨日デアリマスカ、申上ゲタノデアリマスガ、サウ云フ點モ考慮シマシテ、建築費用ガ五千圓掛カリマスレバ、其ノ六分ヲ掛ケタルモノニ、償却ニ要スル費用トカ、或ハ税金ニ要スル費用、其ノ他修繕費或ハ空家ノ危険率ニ對スル費用等ヲ加ヘタ一定ノ率ニ、火災保險料、地代ヲ加ヘタモノヲ以テ家賃トスル、斯ウ云フコトニ致シテ、是ハマア今後建テラレル家屋ニ付キマ

シテハ相當算盤ガ採レルデヤナイカト云フノデ、サウ云フ氣持デ作ッタノデアリマス、ソレカラ又之モ屢、申上ゲタノデアリマスガ、事變前ニ出來テ居リマシタ貸家住宅ト云ヒマスモノハ約三十萬戸出來テ居リマシタ、其ノ大部分ハ申上ゲル迄モナク民間ノ貸家業者ノ手ニ依ッテ建テラレテ居リマス、從ッテサウ云フ人ノ協力ナシデハ出來ナイ、地代家賃統制令ダケデヤカマシク言ッテモ駄目デヤナイカト云フヤウナコトカラ、此ノ貸家組合法ヲ作リマシテ、便宜ナリ資材ノ供給ナドニ付キマシテ色々ト取計ラヒ致シマシテ、出來ルダケマア協力シテ戴キタイト云フヤウナ氣持デ貸家組合法ヲ作ッタノデアリマス、サウ云フ氣持デ此ノ運用モ致シテ行キタイ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小坂梅吉君 分リマシタ、只今御説ノ通り建築費ガ高イ、ソレデハ利潤ヲ取レナイカラ貸家ヲ拵ヘル人ハナイ、ソレハ何ダト云フト、今デヤ役人ノ切捨御免ノ政治デ、イツ何時ドンナ又法令ガ出ハシナイカ、是ハ私極端ノコトヲ言フヤウダガ、市民ノ本當ノ氣持ヲ御話スルンダ、ソレデアルカラ萎縮シテシマツテ縮ンデ居ル、進ンデ貸家ヲ拵ヘヨウト云フ人ハ全クナイ、ナイシ、又此ノ貸家ヤル人ヲ大體分類スルト二ツアル、貸家ナシカデ飯ヲ食ッテ居ル方ノ人ト、何モ貸家ヲ當ニシナイデ自分ガ商賣ヲ持チ、或ハ有價證券ノ配當ヲ持チ、マア貸家ハ殆ド附リニヤツテ居ル人ハ、家賃ヲ値上シヨウノ、家賃デ飯ヲ食ハウト云フ氣ガナイカラ、サウ云フ人ノ家賃ハ安イ、處ガ貸家専門デ昔ノ大家流ニ無闇ニ店子ヲ虐メテ搾ラウト云フノハ専門屋デ、丁度金貸ナラ高利貸

ミタイナ家主ノ人モアル、ソコデ詰リ善良
ナ家主ノ家賃ト云フモノハ非常ニ安イ、處
ガ片方ノ昔ノ大家ミタイニ家賃デモ上ゲテ
店子ヲ虐メテヤラウト云フ人ノ方ハ非常ニ
高クナツテ居ル、ソレヲ役所ハ何時モ同ジ
ヤウニ上ゲテヤラウラス、斯ウ云フコトガ
大變ソコニ貸家ヲ拵ヘヨウト云フ人ノ頭ヲ
抑ヘテ居ハシナイカ、私ハ斯ウ考ヘテ居リ
マスガ、其ノ邊ハ私ノ意見ニナリマスカラ、
御參考ニ申上ゲテ置キマス、ドウカ民間ニ
モ協力シテ、相當貸家ヲ建テサセルヤウニ
國ノ方針ヲ御進メ下サルコトヲ切ニ時代ノ
要求トシテ御願ヒスル次第デアリマス、私
ノ質問ハ是デ終リマス

○政府委員(熊谷憲一君) チョット御參考
迄ニ申上ゲテ置キマス、地代家賃ノ統制令
ガ施行ニナリマシテ、家賃ヲ上ゲタイト云
フ爲ニ書類ガ出テ参リマシテ、受付ケタ件
數一萬六千六百六十件アルノデアリマス、
其ノ内、八千四百二十七件ハ家賃ノ増額許
可ヲシテ居リマス、勿論古イ家ニ付テデア
リマス、ソレカラ相當ノ理由ガアリマスレ
バ……ソレカラ又昔カラ色々ナ事情デアク
貸シテ居リマシテ、サウシテ急ニ上ゲラレ
ヌト云フヤウナ御困リノ方ガ非常ニアルノ
デアリマス、サウ云フ點ハ事情ガアリマス
レバ、十分許可致シタイト思ヒマス
○小坂梅吉君 サウ云フ事情ハ具申スレバ
國ガ許スノデアリマスカ
○政府委員(熊谷憲一君) ハア……御參考
迄ニ申上ゲマシタ

○委員長(子爵立見豐丸君) 佐々木議員カ
ラ發言ヲ求メラレテ居リマスガ、宜シウゴ
ザイマスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員外議員(佐々木八十八君) 本日モ亦
委員外ノ私ニ發言ヲ御許シ下サイマシタコ
トハ恐縮ノ至リデアリマシテ、厚ク御禮申
上ゲマス、私ハ實ハ月曜日ニ厚生大臣カラ
今議題ニナツテ居リマス各案ノ御提案ノ理由
ノ御説明ヲ拜承致シマシテ、此ノ法案ノ條
文ト睨ミ合セマシテ、熟考ヘマシタ所ニ
依リマスト云フト、ドウモ貸家組合法案ハ
統制ノ主眼トシタ消極的ノモノノヤウニ思
ハレタノデアリマス、處ガ昨日此ノ委員會
デ質問應答ヲ傍聽致シマシテ、又私ノ質疑
ニ對シ局長閣下ヨリ御親切ナル御答辯ヲ得
マシテ了解スルコトガ出來タノデアリマス、
所ガ先程長岡委員カラノ御質問ニ對スル政
府委員ノ御答辯ヲ拜承致シマスト云フト、
建築資材ノ優先配給ニ對シテハ、政府ヲ背
景トシテオヤリニナリマス住宅營團ノ方ニ
重キガ置カレテ居ルヤウニ伺ツタノデアリ
マス、次ニハ又工場ノ事業主ノ經營ニ係ル
住宅ニモ建築ノ資材ガ大分廻ルヤウニ伺ツ
タノデアリマス、ソコデ貸家組合ノ方ヘモ
矢張り同様ニ優先的ニ供給ノ特權ガ得ラレ
ルモノデアリマセウカ、其ノ點ニ付私ノ聽
キ損ヒカモ知レマセウカ、不安ヲ抱イタノ
デアリマス、政府ノ御考ト致シマスルト云
フト、貸家組合ノ方ニ十數萬戸ノ住宅ヲ毎
年造ラセルト云フ御方針ノ下デ、此ノ貸家
組合法ノ御立案ガアツタモノト存ジマス、サ
スレバ之ヲ住宅營團同様、寧ロコチラガ主ト
シテ民間デアルノデアリマスカラ、ソレ以
上ニ建築資材ノ優先配給及ビ昨日私ガ申上
ゲマシタヤウナ建築技術者ノ斡旋ト云フ
コトニ十分ノ御力ヲ貸シテ戴カナケレバ
ナラヌモノト存ジマス、處ガ此ノ建築資
材ト申シマシテモ、本年ノ物動計畫ニ計

上セラレテアリマスルコトト存ジマス、
ソレニ付キマシテ、私ハ此ノ間豫算總會ニ
於テ、企畫院總裁カラ概略サウ云フコトヲ
伺ツタノデアリマス、處ガシッカリシタ數量
ノ所ハ私ハ記憶ニアリマセウカ、ソコデ無論
政府ノ方デモ住宅營團及ビ各種工場ノ事業
主ノ經營ニ係ル住宅及ビ貸家組合ヲシテ建
築セシムル所ノ住宅、ソレ等ニ要スルモノ
ノ資材ニ付テハ物動計畫ノ計上ニ入ッテ居
ルコトト存ジマス、ソレニ付テハ何カ政府
ノ方ニ於テ敢テ御如才ハナイト存ジマスガ、
貸家組合法案ニ依ッテ建築シマス資材ニ、我
我ガ安心ガ出來ルヤウモウ一應御説明ガ願
ヒタイノデゴザイマス、ソレニ付キマシテハ
企畫院ノ政府委員モオイデニナツテイラッシ
ヤルノデスカラ、企畫院及工商省及農林省
等關聯シテ御説明ヲ願ツタ方ガ結構ダト存
ジマス、ソレト昨日モ申上ゲマシタヤウ
ニ、モウ一ツ私ハ疑念ヲ懷イテ居リマス
ルモノハ建築技術者デアリマス、是ハ昨日モ
申シマシタ通り、近頃殷賑産業ノ方ニ於ケ
ル勞銀ガ昂騰致シマシタノデ、從來ノ建築
技術者ト云フモノノ其ノ方面ニ轉向スル者
ガ頗ル多イノデアリマス、是ハ情勢カラ考ヘ
マシテ無理ハナイノデアリマス、尙ソレニ付
テ政府ハ之ガ養成所ヲ全國ニ五箇所バカリ
御設ケニナルト云フコトヲ伺ツタノデアリマ
スガ、其ノ御設ケニナル養成所ハ一體下ノ
位ノモノデゴザイマセウカ、一箇所ニドノ位
ノ人數ヲ御養成ニナルノデゴザイマセウカ、
全國デ五箇所デハ少クハナイカシラト云フ
ヤウニ思ハレルノデアリマス、又志望者ガ
果シテ政府ノ御考ノ通りニアルモノヤ否ヤ、
私ハ志望者ガナカク容易ニ集マラナイダ
ラウト云フ考ヲ有ッテ居リマス、ト云フノハ

今申上ゲタ勞銀ノ關係バカリデハナク、建
築技術者ト申シマシテモ、就中主トシテ大
工ガ最も必要ノデス、大工ト云ヘバ昔カ
ラ社會的ニ見テ、是ハ惡イ言葉カモ存ジマ
セヌケレドモ、下級のニ大工自身モ暮シテ
居ルコトヲ自覺シ、世間モ之ヲ下級視シテ
居ルヤウナ弊習ガアルノデアリマス、世上
カラハ大工々々ト隨分澤山サウニモ言ハ
レ、又熊公、虎公ト言ハレタ者モ、別ニソ
レニ對シテ氣ニ掛ケナイト云フヤウナ因習
ガアツタノデアリマス、處ガソレハ明治時代
迄ノコトデ、大正以來ハソナニ熊公、虎
公ト言ハナイデ、大山サントカ、乙川サ
トカ言ッテ氏姓ヲ呼ブヤウニナリマシタノ
デ、社會的ノ地位ト云フモノガ幾分向上
サレタヤウニ思フノデアリマス、併シナガ
ラ尙今日デモ彼等ノ社會的地位ト云フモノ
ハ容易ニ向上サレテ居ナイノデス、處ガ彼
等ノ技術ト云フモノハ、是ハナカク……尊敬
スベキ技術ヲ持ッテ居ルノデ、謂ハバ大工ノ
如キハ一ツノ技術者デアルト云フヤウニ思
ハレルノデアリマス、ソコデ彼等ノ名稱、
大工ヲ木工技手トカ、或ハ建築師トカ云フ
ヤウナ、少シ世ノ中カラ尊敬ヲ受ケルヤウ
ナ名ニ變ヘサヘスレバ彼等モ自分ノ職業ニ興
味ヲ有チ、勞銀ノ如何ニ拘ラズ他ヘ轉向ス
ルコトガ、少クナルノデヤナカラウカ、
斯ウ云フ風ナコトニモ私ハ考ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレニ付テ政府ハ十分ニ技能者
ノ養成ト云フコトニ御努力ヲ願ハヌケレバ
此ノ問題ノ解決ハ附カナイカト私ハ思フノ
デアリマス、ソレニ付キマシテモウ一應政
府ノ御所信ヲ拜承致シタイノデアリマス、
モウ一ツハ貸家組合ノ方ヘモ、矢張り住宅
營團同様ノ趣旨ヲ以テ土地ノ收用ト云フコ

トニ依ッテ特ニ便宜ヲ與ヘラルトカ、又ハ
低利資金ノ融通、其ノ他色々方面ニ於テ
助成金ノ交付ト云フヤウナコトモ徹底的ニ
御力ヲ貸シテ戴クト云フコトニナラナケレ
バ、容易ニ此ノ貸家組合ノ方ニ於テモ一箇
年二十四萬戸ノ住宅ヲ今日建築スルト云フ
コトハムヅカシイコトト思ハレルノデアリ
マス、只今小坂議員モ申サレタ通り、今日
ノ貸家ノ投資者ト云フモノハ殆ド萎縮シテ
居ルノデアリマス、又昨日局長サンノ御話
ニ依リマス云フト、利廻ガ年六分ト云フ
御話デゴザイマシタ、其ノ六分ト云フモノ
ハ、是ハ空家ニナッタラ危險ダトカ、火災保
險料及修繕費、ソレカラ諸租税及公課ヲ引
去ツタ残リノモノガ年六分ノ利廻リニナル
モノデゴザイマセウカ、ソレヲ昨日チヨット
私ハ聽漏シマシタノデ、モウ一應ソレノ御
答ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ貸家
組合ヲシテ一區域ニ澤山ノ住宅ヲ建テサス
ト云フコトニナリマス、ソコニハ矢張り
教育ノ機關モ必要デアリマスシ、又殊ニ交
通機關ハ最も必要デアリマス、第一ニハ教
育機關、次ニ衛生機關、是モ必要ニナルノ
デアリマス、漸次住宅ガ擴大シマシタ
ラ、ソレニハ地方團體ニ於テ市トカ、町ト
カ、村トカ決シテ之ヲ打ッチャツテ置カ
ナイト思フ、必ず早晚小學校ノ一ツ位出來
ルコトト思ヒマス、併シ幼稚園トカニナリ
マス、容易ニ出來ナイコトト存ジマス、又錢
湯即チ浴場、是モ近頃ハ採算ニ合ハナイ事
業デアリマスノデ、速急ニハ錢湯モ出來ナ
イダラウト思ヒマス、是ハ大阪ノ大正區ニ
於テ相當サウ云フ經驗ヲ嘗メタ人ガアリマ
シテ、住宅ハ追々建ツケレドモ、錢湯ヲ開
業スル者ガナイ、オ湯屋ガ出來ナイ、

ト申シマスノハ、私ガ申上ゲマシタヤウニ
採算ニ合ハナイカラデアリマス、ソコデ以
テ特殊ナ家主ハ、採算ガ合ハナイデ見スノ
損失ヲ招クケレドモ、義侠的精神ヲ以テオ
湯屋ヲ二三拵ヘテ見タト云フヤウナコトガ
澤山アルノデアリマス、ソレハ大阪ノ大正
區及西淀川區ニ其ノ事實ガアルノデアリマ
ス、又ワザ／＼私金ヲ投ジテ幼稚園ヲ拵ヘ
タト云フヤウナ篤志家モアルノデ、サウ云
フ公益事業ガ追々必要トナリマス云フト、
是等ニ對シテ政府ハ十分ノ助成ヲシテ戴ケ
ルモノデアリマス、ソレモ能ク伺ッテ置キ
タイノデアリマス、サウシテ組合加入者ハ
從來ノ貸家業ヲ經營シタ人ナルヲ以テ資格
ガアル、其ノ人ガ加入致シマシタ場合ニハ、
自分ノ既設即チ既ニ貸家ヲ建テマシテ、現
ニ經營シテ居リマス古イ貸家ノ修繕等ニ要
シマス建築資材及建築技能者ノ供給ト云
フヤウナコトニ付テハ、是モ組合經營ノ新
築家屋同様ノ特權ヲ與ヘラルモノデゴザ
イマセウカ、ソレモチヨット伺ヒタイノデア
リマス、ソレカラ貸家組合ノ免稅點ハドノ
邊ノモノデゴザイマセウカ、ソレモ伺ヒタ
イノデス、又配給證明書ト云フモノハ市長
ヲ經由シテ交付スルト云フコトニナッテ居
ルノデアリマセウカ、此ノ配給證明書ヲ持ッ
テ行キマシテモ、何時モ品切れデアルトカ、
品不足デアルトカト云フヤウナコトデ、容
易ニ求メ得ラレナイト云フ事情ニ在ルノデ
アリマス、サウ云フ時ニハドウ云フヤウナ
處置ヲ執ッテ戴ケマス、是等ノ點モドウゾ
モウ一應御答ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレ
カラモウ一ツハ出資ノコトデスガ、此ノ出
資ノ一口ハドレ位ノ金額ニナッテ居リマセ
ウカ、之ニ對シテモ御答ヲ願ヒタイト存ジ

マス
○政府委員(熊谷憲一君) 御答へ申上ゲマ
ス、第一點ハ貸家組合ニ對シマシテノ資材
ノ配給ハ住宅營團ヨリモ後ニナルヤウニ聽
イタガ、ドウ云フヤウナコトデアラウカ、
斯ウ云フ御尋デアッタノデアリマスガ、是ハ
勿論住宅營團ヨリ後ニナル者ハナイノデア
リマシテ、同ジヤウニ取扱ッテ行キタイト考
ヘテ居リマス、又貸家組合ニ付キマシテ、
或場所ニ依リマシテハ勿論重點主義デヤッ
テ行カナケレバナラス場合デアリマスカラ、
住宅難デ家ガ拂底シタ所ニ在ル貸家組合ニ
對シマシテハ最も重キヲ置イテ、住宅難ノ
左程デナイ所ニ貸家組合ガ出來マスレバ、
サウ云フ所ニ御委セスルト云フコトモ有リ
得ルト思フノデアリマス、ソレカラ第二點
ノ技能者ノ養成ノ點デゴザイマスガ、是ハ
只今ノ處マダ規模ガ小サカリマシテ、一
年間一箇所百人位デアリマスガ、之ヲ五箇
所五百人位ニスルヤウニ是ハ出來ルダケ將
來ハ一層擴大シテ行キタイト考ヘテ居リマ
ス、尤モ此ノ人達ノ志望者ハナカ／＼困難
ダト存ジマスルガ、或ハ住宅營團ノ方ニ世
話ヲシテヤルトカ、或ハ請負業者ノ方ニ世
話ヲシテヤルトカ、ト云フコトニシテ、出
來ルダケ有利ナ條件デ一ツ世話ヲシタイト
云フ考デ居リマスガ、サウ云フコトニ依ッテ
希望ダケノ人ハ得ラレルヤウニナルト考ヘ
マス、尙此ノ技能者ノ大工左官等ノ待遇ニ
關スル問題ニ關シマシテハ、御話ノヤウニ
色々今迄社會的地位ガ工場労働者ノソレニ
比シマシテ低イノデアリマスノデ、其ノ方ニ
逃ゲル傾向ガ多イノデアリマス、又此ノ勞
働立法ト致シマシテハ、初中終其ノ働ク場
所ガ違フシ、又請負師ナリ或ハ需要者ガ變

ル爲ニ此ノ労働立法デ保護スルコトガ出來
ナカッタト云フ關係モアリマス、サウ云フ
所ヲ根本的ニモウ一層考ヘマシテ、其ノ地
位ヲ高メテ保護シテ行クト云フコトニ依ッ
テ、大工左官ノ其處ニ留マル人ガ多イヤウ
ニシテ行カナケレバナラスト私ハ考ヘル次
第デアリマス、ソレカラ第三點ノ貸家組合
ニ對シテ資金ノ世話モヤルヤウニシテハド
ウカ、低利資金ノ世話モヤルヤウニシテハ
ドウカト云フコトデアッタノデアリマスガ、
此ノ資金ノ世話モ出來ルダケ致シテ見タイ
ト考ヘテ居リマスルガ、根本ノ考ト致シマ
シテハ、民間ノ貸家投資家デ自分ノ金デ建
ラレルコトヲマア原則トシテ居ルノデアリ
マスガ、...金ガアレバモウ少シ餘計建ツ
ト云フヤウナ風ニ何等カ考ヘルト云フヤウ
ナ考ヘ方デ行キタイト思ッテ居リマス、ソ
レカラ地代家賃統制令ノ建築物ノ六分ト云フ
モノノ中ニ色々ナモノガ含ンデ居ルカドウ
カノ御尋ネデアリマシタガ、六分ハ是ハ建
築費用ノ六分ヲ資本利子トシテ考ヘタノデ
アリマス、其ノ外ノ修繕費、償却利子、償
却費用、家屋税附加税、ソレカラ空家ノ危險
率等ハ別箇ノ計算ニナッテ居リマシテ、是ハ
六分ノ中ニハ含ンデ居リマセス、ソレカラ
此ノ貸家ヲ段々ト建テテ行クト、色々ノ風
呂屋トカ考ヘテ行カネバナラスト思フガ、
ソレニ付テハ補助ヲ考ヘテ居ルカト云フヤ
ウ御尋デアッタト思フノデアリマスガ、只
今ノ處サウ云フ點迄ハ考ヘテ居ナイノデア
リマシテ、將來ノ問題トシテ能ク考ヘテ見
タイト存ジマス、ソレカラ借家組合、貸家
組合ノ修繕ニ要スル技術、資材等モ優先配
給スルカト云フ御尋ニ對シマシテハ、是モ
家ヲ荒ラシテ其ノ儘ニシテ置クト云フ譯ニ

ハ參リマセヌカラ、國家經濟上物資が非常ニ不足スル時デアリマスガ、出來ルダケ世話ヲシテ見タイト考ヘテ居リマス、ソレカラ尙配給證明書ガアツテモ實際物が來ナイ場合ニハドウスルカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ府縣廳ノ當該關係ノ役人ノ所ヘ行ツテ催促ヲシテ戴クトカ、或ハ場合ニ依リマシテハ我々ノ方ニ御申越ヲ願ヒマスレバ適當ニ其ノ方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ一口ノ金額ハ幾ラデアルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ出來ルダケ此ノ貸家業者ニ重キ負擔ヲサセル譯ニハ行キマセヌカラ、一口マア五圓カ十圓、斯ウ云フ所デ認可ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙此ノ貸家組合ノ免稅點ト云フ御尋ガアリマシタガ、是ハ貸家組合ノ免稅點ト云フノハドウ云フ點デアルカハッキリ致シマセヌガ、所得稅トカ、法人稅トカ、其ノ外色々不動産取得等ニ關シマシテハ税金ヲ取ラナイト云フ其ノ條文ニ依ツテ結局御了解ヲ御願ヒ致シタイト思ヒス

○佐々木八十八君 ソレデハ……

○委員長(子爵立見豐丸君) 大分時間モ掛カリマシタカラ簡單ニ願ヒマス

○佐々木八十八君 モウ少シデス、只今局長サンカラ御深切ナ御答辯ヲ戴キマシテ有難ウゴザイマシタ、ドウシテモ私ガ心配ニ堪ヘナイノハ、技能者ヲ得ルト云フコトガ困難ナ問題ダト思フノデアリマス、ソレニ付テ層一層政府ノ方デ養成所ヲ到ル所ニ御拵ヘニナリマシテ、ソレニ御努力ヲ願ヒタイト云フコトノ希望ヲ申上デマスト同時ニ、飽ク迄モ是ハ大事ナコトデゴザイマスノデ、社會的地位ガ技術ノ割合ニ比シテ餘リニモ低イト云フコトニナリ

マスカラ、何トカソコヲ考ヘテ戴キタイ、斯様ニ思フノデアリマス、其ノ一例ヲ申シマスルト、大阪府デハ職工學校ト云フヤウナ名義デ學校ガ出來テ居リマスガ、職工ト云フ文字ガイケナイノデ、外ノ學校ニ比シテ比較的志氣者ノ數ガ少ク、ソレハ職工ト云フ文字ヲ嫌フノデス、況ヤ大工トカ薦ト云フヤウナ文字ヲ使フコトヲ嫌フノデス、ソレヲ何トカ此ノ機會ニ於テ其ノ名稱ヲ變ヘテ戴キタイ、兵隊サンノ如キモ一等卒ガ一等兵ニナッタヤウニ、是ハ僅ナコトデハアリマスガ、名稱ト云フヤウナ點モナカク、看過出來ナイコトダラウト思ヒマスカラ、ソコヲ能ク御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ヲカシナ話デハゴザイマスガ、滿洲ノ人カラ日本ノ左官ヲ見テ、アレハ左傾派ノ官吏カト云フヤウナ話モアツタ位デス、斯様ニ名稱ノ使ヒ方ト云フモノハヲカシナコトニナリマス、大工ト云フヤウナモノモ、聽キ馴レルトサウデモアリマセヌガ、馴レナイトサウ云フ例モアリマス、ソコヲ能ク御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、甚ダ諄イコトヲ申上デマシタガ、是デ私ノ質問ヲ終リマス、私ノ爲ニ時間ヲ御割キ下サイマシテ有難ウゴザイマシタ

○委員長(子爵立見豐丸君) 本日ハ是ニテ散會致シマス、明日午前十時カラ開會致シマス

午後零時九分散會

出席者左ノ如シ

委員長	子爵立見	豐丸君
副委員長	男爵高木	喜寬君
委員	侯爵中山	輔親君
	伯爵松本	宗隆君

政府委員

企畫院部長	三浦 一雄君
內務省計畫局長	藤岡 長敏君
商工省化學局長	永田彦太郎君
厚生省社會局長	熊谷 憲一君
厚生書記官	中島 賢藏君

委員外議員

子爵實吉	純郎君
仁井田益太郎君	
男爵前田	勇君
田口	弼一君
男爵山川	建君
中川	望君
長岡隆一郎君	
安宅	彌吉君
小坂	梅吉君
松井貞太郎君	
齋藤万壽雄君	
岩田	三史君

佐々木八十八君